

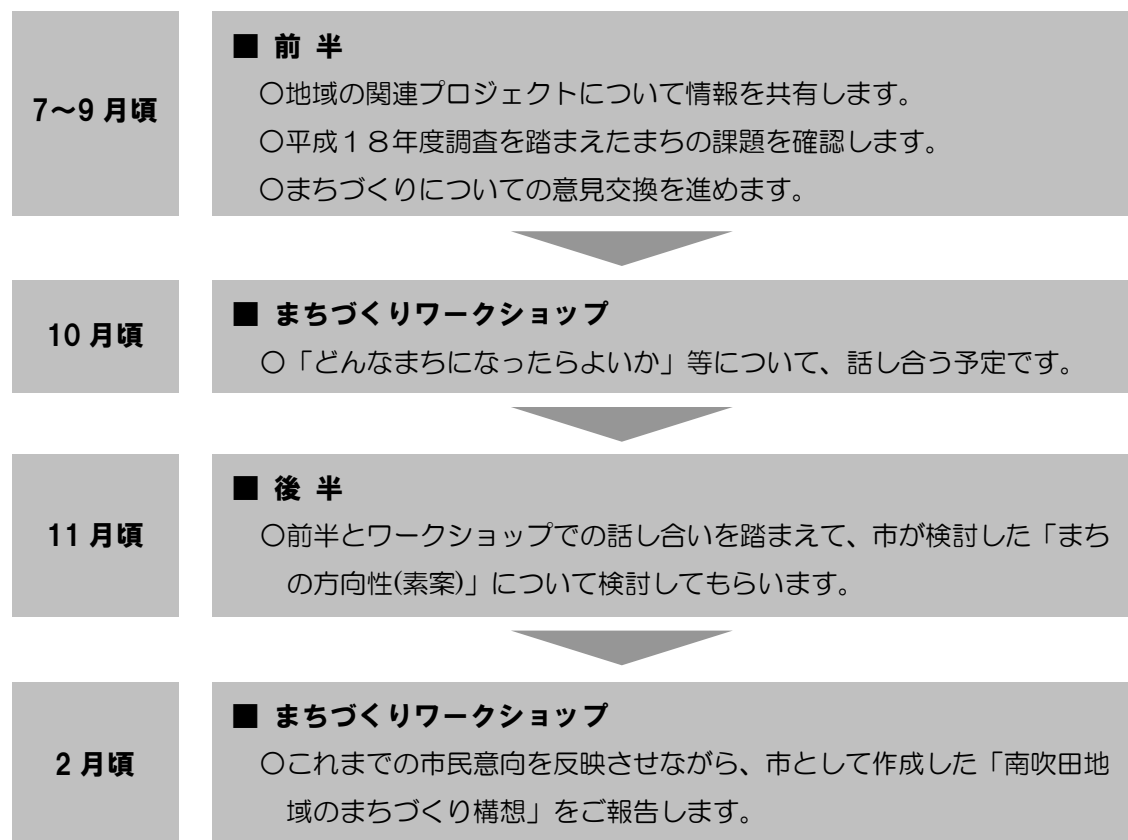
## ●今後のスケジュール

「南吹田地域のまちづくり構想」を取りまとめるにあたり、南吹田地域のまちづくりについて話し合うため「市民との協働の場」を開催し、下記のようなスケジュールで進めたいと考えています。まちづくりワークショップの開催日程等は、改めてご案内します。



今年度は、「南吹田地域のまちづくり構想」をまとめます。

### スケジュール（予定）



### 編集後記

このまちづくり通信は、南吹田地域まちづくり検討調査にあわせて、南吹田地域のまちづくりに関する情報や調査の進捗状況を、皆さんと共有する目的で昨年から発行しています。今年度は、皆さんに南吹田地域のまちづくりについて話し合っていたいただく場を設けますので、その内容等もまちづくり通信にてご報告していきたいと考えています。

# 南吹田地域

Vol.3

平成19年(2007年)6月

## まちづくり通信

このまちづくり通信は、南吹田地域のまちづくりに関する情報を地域に関わる方々と共有するためのリーフレットです。

【発行】

吹田市都市整備部都市整備室  
都市計画(計画・企画)担当

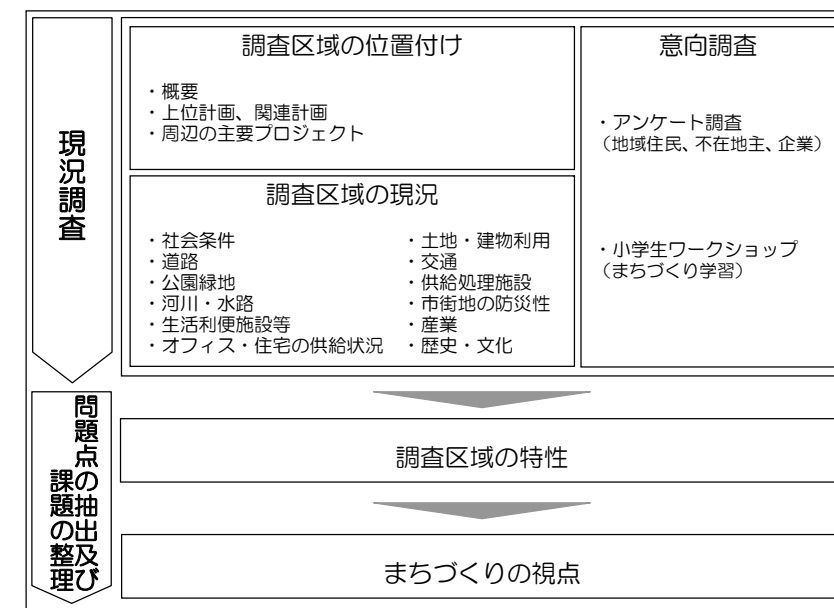
住所 〒564-8550  
吹田市泉町1丁目3番40号  
電話 (06)6384-1946  
FAX (06)6368-9901  
Eメール tosiseib@city.suita.osaka.jp  
ホームページ URL http://www.city.suita.osaka.jp

## ●平成18年度南吹田地域まちづくり検討調査をまとめました。

南吹田地域では、大阪外環状線鉄道の新設や新駅の設置、周辺の幹線道路の整備等がこれから進んでいきます。吹田市では、昨年度(平成18年度)から当吹田地域の発展がより良いものとなるようまちづくりの方向性を検討するため、都市整備室において、新しくできる駅を中心としたエリアを対象に「南吹田地域まちづくり検討調査」を行なっています。

昨年度は、住民や地域に立地する企業のご意見やご意向を伺うアンケート調査等の現況調査を実施し、地域のもつ特性を整理し、そこから今後のまちづくりを考える上での基本的な視点を導き出しました。

### 【平成18年度調査の流れ】



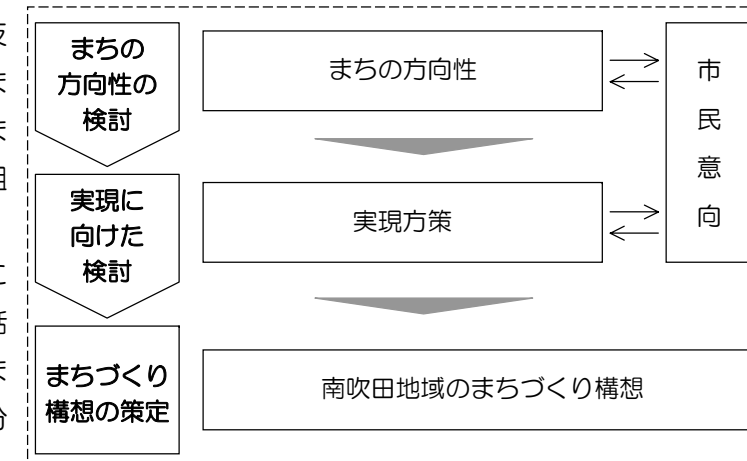
2ページから7ページに、平成18年度調査結果の概要を紹介しています。

## ●平成19年度で「南吹田地域のまちづくり構想」をまとめます。

今年度(平成19年度)の調査では、平成18年度の調査結果を踏まえ、市民意向を反映させながら、市としての「南吹田地域のまちづくり構想」として取りまとめるため、まちの方向性と、その実現に向け必要な取り組み等の検討を進めていきます。

今年度まちづくり構想を取りまとめるにあたっては、市民の皆さんとまちづくりを話し合うため「市民との協働の場」を設置します。場の運営等については、市民意向を十分に反映した中で進めます。

### 【平成19年度調査の流れ】



## ●地区ごとの特性

自治会の範囲や軌道敷による地域の状況等を勘察し、調査区域を3地区に分け、現況調査を行いました。通信では、地区特性と意向調査結果の概要を掲載しています。

### 吹南地区（南吹田一・二丁目付近）



#### 【地区特性】

- 住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア
- 倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア
- 共同住宅の立地が進むエリア
- 新駅の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア
- 低未利用地が点在し、鉄道・道路の整備効果により、土地利用が劇的に変化する可能性のあるエリア
- 緑道や神崎川などがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア
- 不法駐車が多いなど治安や生活環境面で課題のあるエリア

#### 【意向調査結果】

- 過半数が不満・やや不満と評価した項目  
交通機関(89.3%)、日常の買い物(79.5%)、医療施設・福祉施設(73.7%)、道路の歩行時の安全性(69.5%)、地区内移動(61.7%)、防犯(61.7%)、防災(53.3%)、市民サービス(61.7%)
- どのようなまちをめざすか  
高齢者や障害者が安心して暮らすことのできるまち(70.9%)、子どもが安心して遊び・学べるまち(56.7%)、防災や防犯に配慮した安全なまち(52.5%)
- まちづくりを進めるために必要なこと  
歩きやすい安全な歩行者空間の整備(72.3%)、医療・福祉など市民生活を支える施設の立地(48.9%)、防犯体制の整備、充実(44.7%)
- まちづくりへの参加  
まちづくり活動に参加したい(12.1%) 活動の内容によっては参加したい(47.5%) まちづくりに関する情報はほしい(18.4%) まちづくり活動には参加しない(2.1%)
- 住み続けたいか  
ずっと住み続けたい(58.2%) 引っ越したい(7.8%) わからない(28.4%)
- 指摘されている地域の問題点  
交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い 不法駐車、治安への不安 JRガード下の安全 など

### 吹南地区（南吹田三丁目付近）



#### 【地区特性】

- 住宅と流通・業務機能が混在するエリア
- 流通・業務施設の立地が進むエリア
- 共同住宅の立地が進むエリア
- 幹線道路等の整備、江坂への近接性から利便性の高いエリア
- フラワーロードなどがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア
- 西吹田駅前線の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア
- 低未利用地の敷地規模が小さく、大規模土地利用転換の可能性が低いエリア

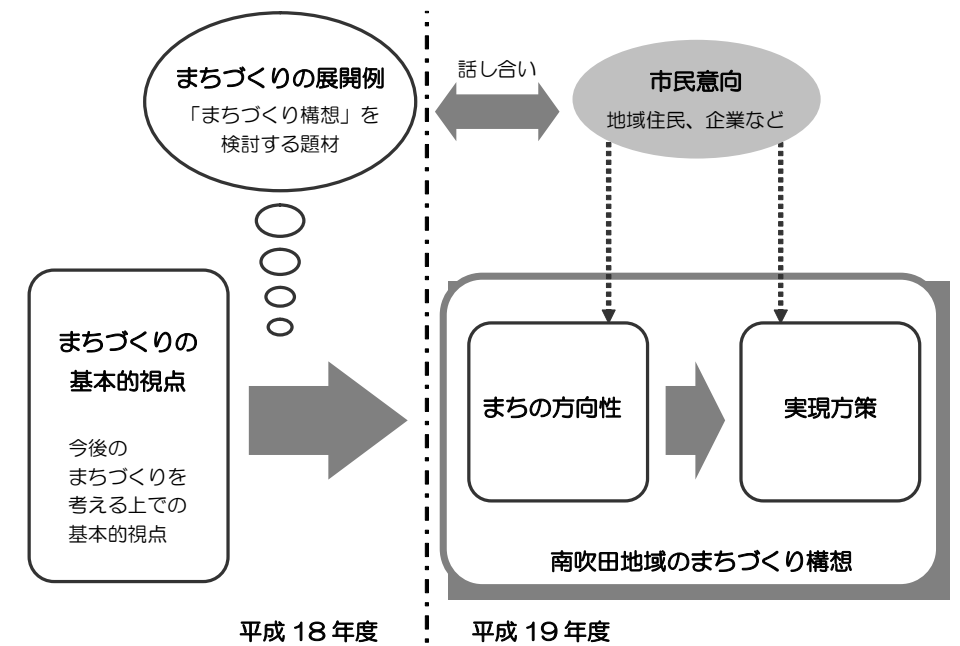
#### 【意向調査結果】

- 過半数が不満・やや不満と評価した項目  
交通機関(75.6%)、医療施設・福祉施設(64.4%)、道路の歩行時の安全性(62.2%)、防災(53.3%)、地区内移動(52.4%)
- どのようなまちをめざすか  
高齢者や障害者が安心して暮らすことのできるまち(77.3%)、子どもが安心して遊び・学べるまち(60.4%)、防災や防犯に配慮した安全なまち(59.1%)
- まちづくりを進めるために必要なこと  
歩きやすい安全な歩行者空間の整備(80.0%)、医療・福祉など市民生活を支える施設の立地(51.6%)、防犯体制の整備、充実(48.9%)
- まちづくりへの参加  
まちづくり活動に参加したい(8.9%) 活動の内容によっては参加したい(41.8%) まちづくりに関する情報はほしい(24.9%) まちづくり活動には参加しない(0.9%)
- 住み続けたいか  
ずっと住み続けたい(61.3%) 引っ越したい(3.1%) わからない(29.3%)
- 指摘されている地域の問題点  
交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い など

## ●まちづくり構想に向けて

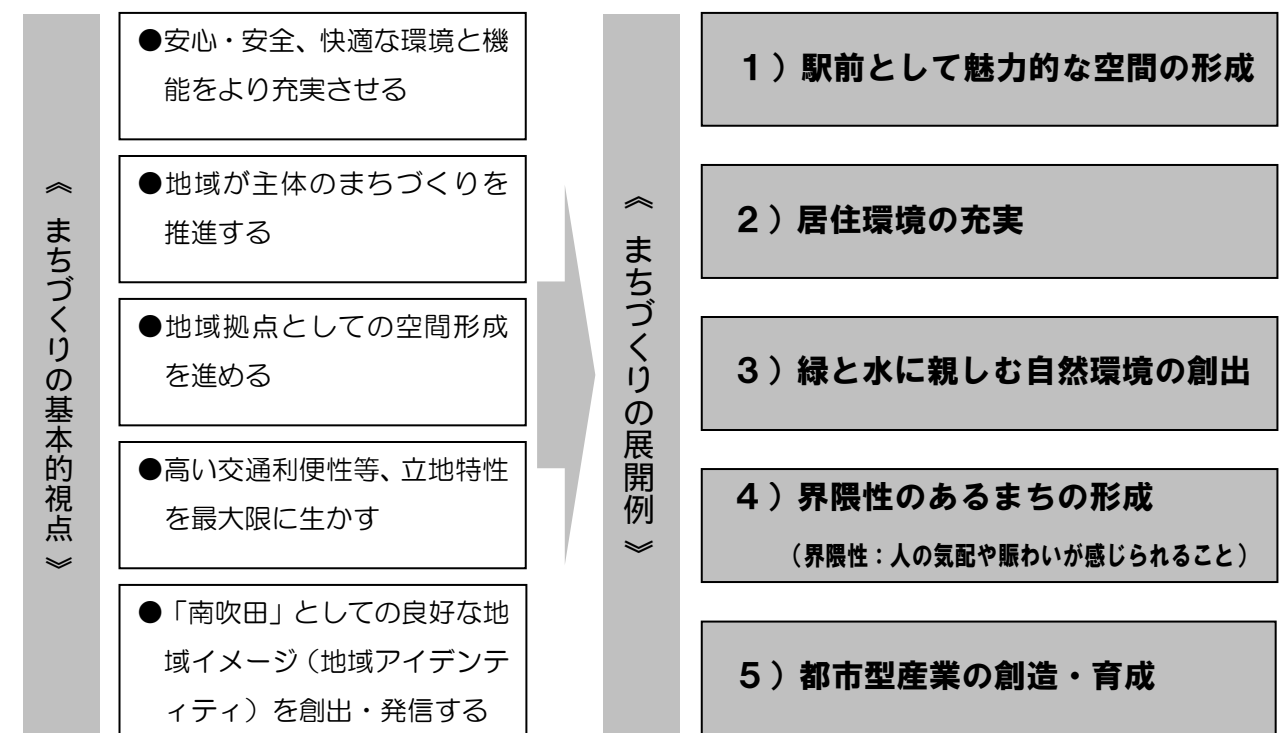
今年度は、平成 18 年度の調査を踏まえ、地域住民・企業等の市民意向を反映させながらまちの方向性と、その実現方策を検討し、「南吹田地域のまちづくり構想」を策定していきます。

### 【「南吹田地域のまちづくり構想」策定への流れ】



今後、まちづくり構想を地域住民・企業等、市民とともに考えていく際に、より具体的話し合いができるよう、平成 18 年度調査の中では話し合いの題材として、まちづくりの基本的視点を踏まえて5つの「まちづくりの展開例」を提案しています。

### 【南吹田地域で考えられるまちづくりの展開例】 ~市民参加で「まちづくり構想」を検討する題材~



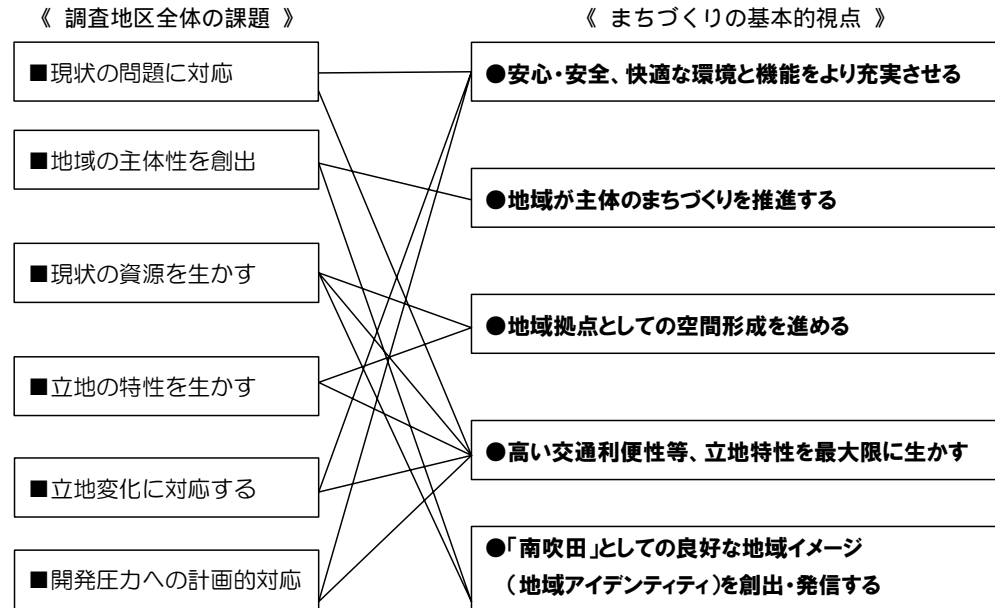


## ●まちづくりの基本的視点

南吹田地域のまちづくりでは、現況調査から抽出した課題に対応しつつ、新駅開設など交通利便性の向上を踏まえ、吹田市南部の立地を活かした、安心・安全、かつ、特徴と賑わいのある誇れるまちづくりを進めることが求められます。

このような観点から、平成18年度の調査では調査区域の現況、意向調査等を踏まえた地域の抱える課題をもとに、5つの「まちづくりの基本的視点」としてまとめました。

これらは今後のまちづくりを考える上での基本的な視点となります。



### 【まちづくりの基本的視点】

まちづくりの基本的視点の具体的内容は下記のとおりです。

#### ●安心・安全、快適な環境と機能をより充実させる

- ・南吹田はこれまでも暮らしの場として多くの市民が生活しており、今後も暮らし続けることが基本である。また、これまで以上に多くの市民の居住が進む可能性がある。そのため、暮らしの場として必要な機能と環境をまちの基礎的条件として備えるとともに、より安心で快適な生活環境を充実させるという視点。

#### ●地域が主体のまちづくりを推進する

- ・地域住民や地域に立地する企業等が互いに協力し、自らが主体となって地域に根ざした「協働のまちづくり」を推進するという視点。

#### ●地域拠点としての空間形成を進める

- ・南吹田は吹田市南部の地域拠点として発展することが求められており、そのためにふさわしい空間形成を進めるという視点。

#### ●高い交通利便性等、立地特性を最大限に生かす

- ・大阪外環状線鉄道や都市計画道路十三高槻線の開通、江坂や新大阪との近接性、神崎川沿いへの産業集積、リバーフロントなど、立地環境のポテンシャルを最大限に生かし、南吹田のまちの発展を促すという視点。

#### ●「南吹田」としての良好な地域イメージ(地域アイデンティティ)を創出・発信す

- ・現状では「南吹田」としての明確な地域イメージはないが、ハード・ソフト両面からのまちづくりを進めることにより、良好な地域イメージを創出し、地区内外に発信することにより、南吹田のイメージアップを図るという視点。

### 吹六地区（川岸町・南清和園町・清和園町付近）



#### 【地区特性】

- 住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア（川岸町）
- 狭隘な道路と老朽化した木造住宅が建て込んだエリア（南清和園町・清和園町）
- 阪急吹田付近への近接性が高く利便性の高いエリア
- 倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア（川岸町）
- 共同住宅の立地が進むエリア
- 十三高槻線の開通により地域東部との接続性が高まるエリア
- 低未利用地が点在する十三高槻線は、鉄道・道路の整備効果により、土地利用が劇的に変化する可能性のあるエリア
- 隣接して中の島公園や神崎川などがあるが緑地がなくアメニティ性が低いエリア

#### 【意向調査結果】

- 過半数が不満・やや不満と評価した項目： 防災(50.7%)
- どのようなまちをめざすか  
高齢者や障害者が安心して暮らすことのできるまち(68.3%)、子どもが安心して遊び・学べるまち(62.1%)、防災や防犯に配慮した安全なまち(60.7%)
- まちづくりを進めるために必要なこと  
歩きやすい安全な歩行者空間の整備(72.1%)、防犯体制の充実(55.9%)、医療・福祉など市民生活を支える施設の立地(32.6%)、防犯体制の整備、充実(55.9%)
- まちづくりへの参加  
まちづくり活動に参加したい(4.7%) 活動の内容によっては参加したい(32.6%)
- 住み続けたいか  
ずっと住み続けたい(51.8%) 引っ越したい(8.9%) わからない(33.9%)
- 指摘されている地域の問題点  
交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い 不法駐車、治安への不安 JRガード下の安全 など

## ●地域全体の課題

各地区の特性を総括し、調査区域全体のまちづくりに関する課題を6つに整理しました。

#### ■現状の問題に対応■

- ・交通や生活サービスなどの利便性の向上。
- ・少子高齢化に対応したまちづくり。
- ・安心、安全な生活環境整備、防災と防犯への配慮。
- ・業務系、住居系の住みわけと生活環境面への配慮。

#### ■地域の主体性を創出■

- ・地域の歴史やコミュニティを継承・持続し、地域の主体性を大切にする。
- ・市民、企業、行政との協働によるまちづくり。

#### ■現状の資源を生かす■

- ・水と緑を活かしたアメニティの向上。
- ・神崎川や、水路、吹田くわい等、地域の歴史や地域資源をまちづくりに生かす。
- ・神崎川沿いの産業集積地という立地特性をまちづくりに生かす。
- ・商工業の交流や研究機関等との交流などによる産業の発展・立地。

#### ■立地の特性を生かす■

- ・市南部の新たな地域拠点としての市街地の形成。
- ・南吹田らしさの創出。
- ・吹田の南の玄関口を演出。

#### ■立地変化に対応する■

- ・新駅や広域幹線道路整備に伴い駅前広場、道路、公園などの再編整備。（駅前広場へのアクセス・鉄道東西市街地間の動線確保・運動広場機能の確保など）
- ・魅力的な市街地の形成を進めるため、特徴ある公共施設の整備や土地利用、景観形成などを含めた総合的な全体構想を持つ。

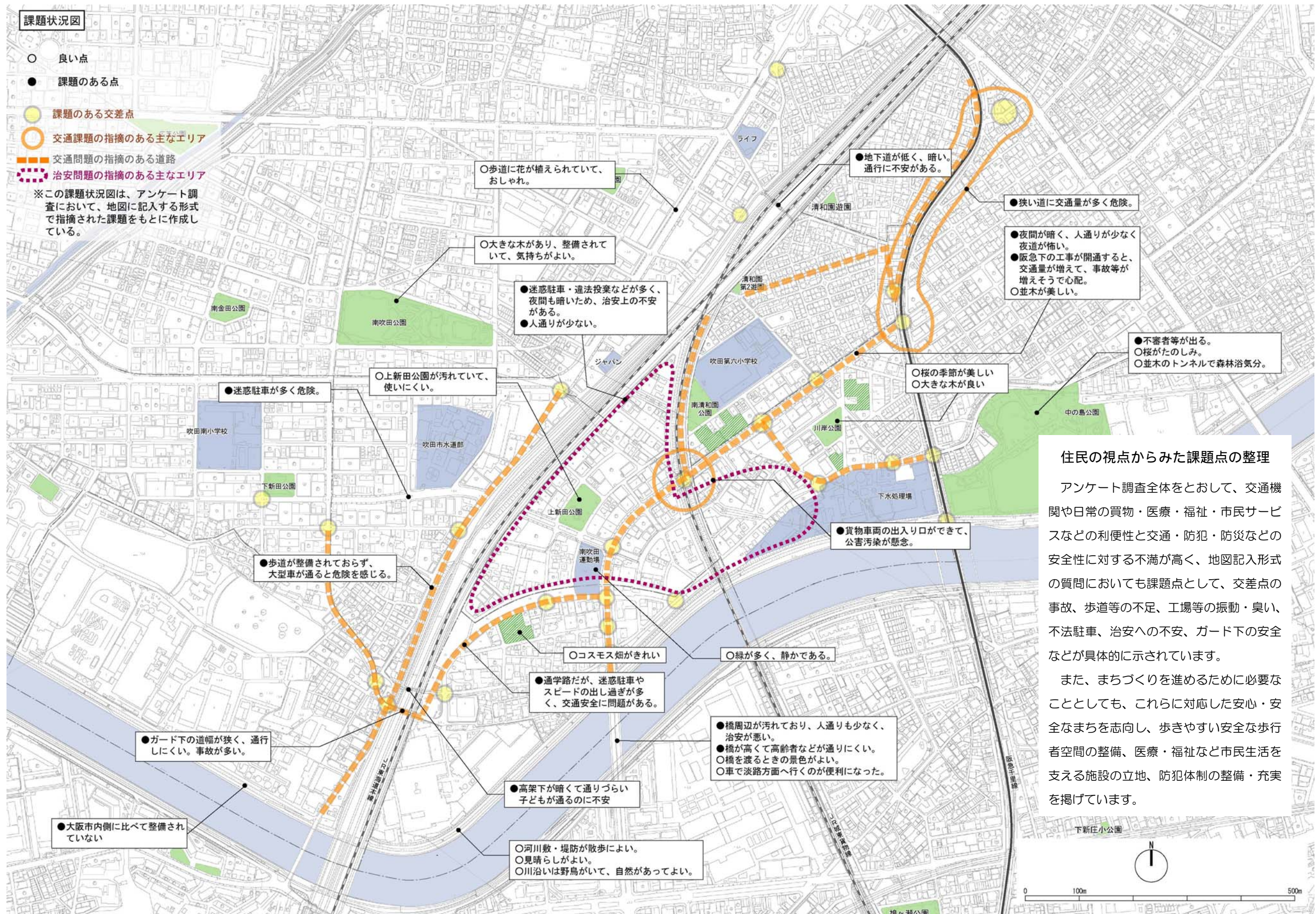
#### ■開発圧力への計画的対応■

- ・開発が進むことによる人口増加等の影響を受け止める計画的視点を持つ。（開発圧力の戦略的誘導、都市基盤の整備、サービス機能の導入など）



# ●住民の視点からみた地域における良い点、課題のある点

アンケート調査で地図記入形式により出してもらった住民の視点での様々な課題点等は次のとおりです。これらの結果も、前のページに掲載した地域の特性と課題整理に反映しています。



## 住民の視点からみた課題点の整理

アンケート調査全体をとって、交通機関や日常の買物・医療・福祉・市民サービスなどの利便性と交通・防犯・防災などの安全性に対する不満が高く、地図記入形式の質問においても課題点として、交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い、不法駐車、治安への不安、ガード下の安全などが具体的に示されています。

また、まちづくりを進めるために必要なこととしても、これらに対応した安心・安全なまちを志向し、歩きやすい安全な歩行者空間の整備、医療・福祉など市民生活を支える施設の立地、防犯体制の整備・充実を掲げています。